

α-リノレン酸含有量が高いエゴマ新品種「飛騨小坂おんたけ1号」

【要約】岐阜県と下呂市が共同で育成したエゴマ品種「飛騨小坂おんたけ1号」は成熟期が11月上旬で、主茎長がやや短く、子実が大きい。α-リノレン酸含有率は70%前後で一般的な在来種より6%程度多い。

中山間農業研究所 作物・果樹部

【連絡先】0577-73-2029

【背景・ねらい】

飛騨地域では古来よりエゴマが栽培されており、n-3系脂肪酸で必須脂肪酸であるα-リノレン酸を多く含む食材として近年需要が高まっている。このため、下呂市ではエゴマ油を使った新商品開発による地域振興を図るため、α-リノレン酸を多く含む新品種への統一による生産拡大が要望されていた。

そこで、下呂市内の各農家で維持されてきた在来種から選抜し、α-リノレン酸含有量が高く、下呂地域の栽培条件に適した新品種を育成する。

【成果の内容・特徴】

- 1 「飛騨小坂おんたけ1号」は、平成27年に下呂市小坂町から収集した在来種30種類からα-リノレン酸が高く、収量性や収穫時期等により選抜・育成した品種である。
(品種登録出願：平成30年3月5日(第32917号) 出願公表：平成30年6月18日)
- 2 主茎長は96cmとやや短く、主茎上部や葉の裏面にアントシアニンが着色しやすい(表1、図1、2)。
- 3 成熟期が11月上旬で「飛系アルプス1号」よりやや遅く、収量は10aあたり100kgと多く、「飛系アルプス1号」より子実が16%大きい(表1)。
- 4 子実の含油率は49%で在来種及び「飛系アルプス1号」と同等、油中のα-リノレン酸含有率は70%で在来種より6%高く「飛系アルプス1号」と同等である(表2)。

【成果の活用・留意点】

- 1 岐阜県と下呂市との共同出願品種で、当面は下呂市内に生産が限定される。

【具体的データ】

表1 「飛騨小坂おんたけ1号」の生育特性（平成28～29年度）

	主茎長 (cm)	アントシアニンの着色		成熟期 (月/日)	子実収量 (kg/10a)	千粒重 (g)	粒径 (mm)
		主茎上部	葉の裏面				
飛騨小坂おんたけ1号	96	中	全面・淡	11月1日	109	3.5	1.8
飛系アルプス1号	121	淡	無	10月27日	80	3.0	1.6

注) 耕種概要 平成28年度: 播種6/22定植7/11、平成29年度: 播種6/12定植7/11

表2 「飛騨小坂おんたけ1号」の含油率と油中の α -リノレン酸含有率（平成28～29年度）

	含油率 (%)	油中の α -リノレン酸含有率 (%)
飛騨小坂おんたけ1号	49	70
飛系アルプス1号	50	69
一般的な在来種 [※]	48	64

※平成27年度に収集した在来30種の平均値



飛騨小坂おんたけ1号 飛系アルプス1号

図1 収穫期の草姿



飛騨小坂おんたけ1号



飛系アルプス1号

図2 茎頂付近の茎及び葉裏のアントシアニン着色程度（開花期直前）

研究課題名：飛騨エゴマの機能性に特化した新商品開発と総合技術開発（平成28～32年度）

研究担当者：安江隆浩